

早雲だより

2025.10.15

第168号

歴史グループ早雲

第二八五回 歴史ハイキング 報告

京の涼を求めて清滝川の渓谷を散策

清滝川の保津峡に合流する地点

落合橋から渓谷沿いに高雄まで

2025年9月28日(日)

はじめに

ようやく秋の気配を感じるようになった9月28日 涼さを求めて清滝川の渓谷散策のハイキングを開催しました。

集合場所の保津峡駅は京都駅から山陰本線で僅か20分弱で到着しますが、トンネルに挟まれた橋上駅で景勝地「保津峡」の真ん中です。駅周辺に商店など無く「秘境駅」と呼ばれているのもうなずけます。

保津峡の景観は観光船の保津川下り等で堪能できます。

ゆったりと船旅を楽しめるのは角倉了以の大堰

川(保津川の嵐山付近)開削という功績のお陰です。大堰川開削工事は角倉了以が慶長11(1606)年3月に着手、同年8月までの6カ月で完成させました。

難工事でした。水路をさえる岩石を爆薬で破壊し、落差のある所は上流を掘って調整、水路が広くなり浅くなる所は置き石で調整しました。

保津峡は開削成功で搬送船が嵯峨に着き、丹波地方の農作物は日に倍して

運ばれ。市中商人の往来が多くなり嵯峨は発展しました。

木材は筏で運ばれ険しい山道を入馬で物資を運送していたことと比べ利便性は格段に上がりました。

角倉了以は大堰川開削による水運で利益を得ました。

保津峡の景観を形づくっている地質ですが、山々は全て中生代ジュラ紀の付加体である「混在岩」だそうです。保津峡全体が「先行谷」だそうです。「先行谷」は徐々に隆起していく早さより川の流れによる浸食の方が早いと谷ができて保津峡のような地形になるようです。

(コース)

JR保津峡駅→トロッコ列車保津峡駅→落合橋→(清滝川沿い)清滝・金鈴橋→高雄橋→バス停高雄

ハイキングの概要

保津峡駅から落合橋

保津峡駅は保津川に架かる橋上駅でした。そこから落合橋までは保津川沿いに車道を歩きました。途中に嵯峨野観光鉄道トロッコ列車の「保津峡駅」があります。駅は対岸にあり全長50メートルの吊り橋「鵜飼橋(うごはし)」で接続されています。

本日は到着したトロッコ列車を見ることが出来ました。



保津峡駅(萬木氏撮影)



鵜飼橋と保津川下り
(入江氏撮影)



保津川下り(萬木氏撮影)

落合橋手前のトンネル
入り口を右に行くと断崖
絶壁から保津峡を見渡せ

る場所があります。保津
川下りの船が深い渓谷の
足下を流れていく絶景は
お勧めポイントです。

落合から清滝



落合の川原(入江氏撮影)

清滝川は飯森山を源流
に高雄から清滝を經由し
てここ落合で保津川に合
流します。

かつて落合から高雄ま
での清滝川沿いは修験者
や巡礼者が歩いていたの
ではないかと言われている
です。

清滝川に架かる落合橋
を渡り川沿いへ下ります。
落合はサスペンスドラマ
の撮影地になっています。
ここから清滝川沿いを上
流の清滝を目指しました。
清滝川沿いの道は所々
岩の露出している所もあ
って渓流の景観を楽しみ
ながら歩くのは難しかつ
た。立ち止まって川を見
ると清流を小魚がたくさ
ん泳いでいました。



清滝川沿い



清滝川沿い



清滝手前の橋

清滝の金鈴橋の下で昼
食タイムにしました。

清滝から高雄

清滝は愛宕山の表参道の
入り口です。金鈴橋から午
後のハイキングは出発です。
登山口の愛宕神社二の鳥居
を見ながら月の輪寺方面へ
上の道を進みます。しばら
く進むと空也の滝・月輪寺
と高雄方面の分岐に着きま
した。案内板に沿って高雄
方面の谷へ下ります。ここ
からは東海自然歩道の歩き
やすい道になりました。



高雄方面へ分岐



清滝から高雄



清滝から高雄



清滝から高雄



清滝から高雄（錦雲溪広場）

しばらく進むと再び清滝川と合流します。

足元の悪い道がしばらく続きました。木々の深い緑、さわやかな風を感じ、溪流の景色を楽しみながら進みました。
やがて苔むしたベンチのある「錦雲溪広場」に到着します。足元の悪いのもここまで。広場を越えて「沈没橋」を渡りました。



錦雲溪広場付近の「沈没橋」

ここから清滝川沿いの北山杉の並木道を歩きます。快適な並木道を進み

清滝橋を渡ると高雄まではもう少しです。



清滝から高雄

（北山杉の並木道）



清滝から高雄（清滝橋）



清滝から高雄

（清滝発電所取水堰）

高雄の神護寺への参道や料亭街を越えて高雄バス停までの急な坂を上り終えた所が本日のゴールです。
ここで三々五々解散しました。本日はお疲れ様でした。皆様のご協力をもって無事終了できました。
ありがとうございました。

一口感想

H・MA

井上代表並びに役員の皆様のお世話で溪谷ウォーキングを満喫できました。保津峡はこれまで何度も車窓から眺めました。が、川に沿って歩くのは初めてでした。清滝川溪谷沿いの遊歩道一部険しい箇所がありましたが、澄み切った清流を見、せせらぎの音を聞きながら木漏れ日の道を歩くことが出来すっかり心を洗われました。出来れば紅葉の時期に再度訪れたいと思います。

◇◇◇◇

Y・MU

当日、いきなりの電車遅延に巻き込まれ波乱の幕開けとなりました。今回の散策は史跡散策というよりハイキングでした。個人的にはこういういつもと違うのもよいと思います。

ました。保津峡では保津川下りも見ることができてよかったです。保津峡から清滝に入り幅が狭くなり、私の地元高槻市の摂津峡と景色が似ていました。途中かなり険しい道があり、参加者全員で協力して登ったのがよかったです。かつて安土城に登った時以上に一体感があったように感じました。次回は、どんな風景が待っているのか今から楽しみです。

◇◇◇◇

T・M

心地良い時間、有り難うございました。

自然の風、清流の流れ、

木々の緑、保津峡溪谷満喫で大満足の1日でした。

骨折して3ヶ月、不安をかかえてのハイキング

参加でしたが、足元注意で何とか高雄にゴールイン。ご褒美のビールの美味しかったこと。

◇◇◇◇

H・MO

「清滝川の溪谷を散策」

久し振りの例会の参加

まだ、症状もスッキリしない状態ですが、今回の例会は是非とも歩いてみたかったコースなので申し込みました。

清滝川のトロツコ列車のタイミングのよい遭遇、保津川の絶景ポイントから清滝川へのコース、あの盛夏の猛暑も忘れたかのような心地良い気候と、癒してくれた、清流の音、濃い緑、高雄まで少しハードな所もありましたが、無事完歩する事が出来ました。それにしても、皆さんの元気で健脚ぶりに

は感心しました。つくづく、常日頃の運動不足を痛感した次第です。

【編集後記】

今回の歴史ハイキング

は村田さんの一口感想にあるように「電車遅延」からスタート。入江さんからの電話で「JR京都線が運休してます。」と情報が入りました。私は近鉄車中でハイキングに来られる方への影響が分からない状態でした。

JRの遅延の影響を受けた方は2名でした。スマホで連絡を取って対応できて幸いでした。

◇◇◇◇

今回のハイキングは歴史グループスタッフの一瀬さんと原田さんに企画をお任せしました。アドバイザーとして入江さんに協力していただきました。

現地下見は私を含めて4名で7月25日に実施しました。溪谷沿いとは言え暑い日でした。下見

を含めてありがとうございます。

◇◇◇◇

参加の皆さんのバックアップとご協力の御蔭でハイキングは無事終了できました。ありがとうございます。感謝。感謝でございます。

◇◇◇◇

今回は保津峡駅から清滝を通り高雄までのポピュラーなハイキングコースを歩きました。何か物足りないので角倉了以の偉業「大堰川開削」と保津峡の成り立ちを「早雲だより」に入れてみました。少し歴史ハイキングらしくなったかなと思っております。

今回のコースはJR京都駅から僅か20分少々で来られて秘境気分が味わえるところですよ。改めて気が付きました。

また機会があれば行ってみたいと思っています。